

事業番号	07 05 07	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	1・2年生課程訓練事業				担当課	部局	産業労働部		
総合5か年計画	未来プロジェクト	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興等 4人材の育成・確保 1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり 1 職業能力開発の推進				課・室	人材育成課		
	施策の総合的展開					E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S13 ~			

1 事業の概要

目指す姿	新規学卒者、離転職者等を対象に、就業に必要な基礎的な技能・知識習得のための1~2年間の職業訓練(6月の短期課程を含む施設内訓練)を実施することにより、県産業界の基盤を担う技能者の育成と就業の促進を図る。		
現状	○少子化(若年層の労働力人口の減少)、高学歴化(大学全入時代)、若者のものづくり離れ等により、本県経済を支える製造業等において若年技能者が不足している。 ○このため、新規学卒者、離転職者等を対象に、企業ニーズ、受講ニーズに即した職業訓練を実施する必要がある。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】	
	県民との協働による実施: 困難	国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的 職業能力開発促進法第15条の6、第9次長野県職業能力開発計画、長野県ものづくり産業振興戦略プラン	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H25)					
	普通課程修了生の就職率85%程度を目標とする。 普通課程の定員充足率80%程度を目標とする。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
	外部講師の配置	直接	・講師報酬、労働対価分、交通費相当額 ・講師共済費、児童手当拠出金	47,517	33,085	44,625
	就職講演会講師の配置	直接	・講師謝金 ・費用弁償	639	215	457
	消耗品費	直接	・普通課程、短期課程教材費等	32,244	30,515	31,650
	原材料費	直接	・普通課程原材料費等	4,541	4,210	4,541
	郵便料等	直接	・経常経費	423	0	423
	複写機使用料	直接	・経常経費	136	0	136
合計			85,500	68,025	81,832	

事業コスト	区 分(単位:千円)					成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越			0	項目	H24末(実績)	H25			H26目標		
		当初予算	98,679	91,102	85,500			81,832	目標	成果		達成状況	
		補正予算	-10,003										
		合計(A)	88,676	91,102	85,500			81,832					
	Aの財源	国庫支出金	16,422	24,483	24,483	23,303	修了生の就職率	H25.3	85%	H26.3	達成	85%	
		県債			0			85.7%	91.9%				
		その他(使用料等)	28,973	30,825	30,788	30,528		定員充足率	H25.4	80%	H26.4	未達成	85%
		一般財源	43,281	35,794	30,229	28,001			84.5%	72.4%			
	決算額(B)	75,205	80,726	68,025									
概算人件費	職員数(人)												
	概算人件費(C)	0	0	0	0								
概算事業費(B(A)+C)	75,205	80,726	68,025	81,832									

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・景気の回復基調により求人が増えたため、就職率が向上した。 ・また、景気の回復基調により求職者が減ったため、技術専門学校への入校者が減り、結果として定員充足率は低下した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・修了生の就職率については、引き続き就職指導との支援体制を維持していく。 ・定員充足率については、カリキュラムの見直しや施設や機器の整備を通じて、地域ニーズに応えた魅力的な校づくりを進めていく。